

臨床研究に関する公開情報

国立病院機構西新潟中央病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法等についてお知りになりたい方や、この研究のためにご自分のデータが使用されることをお望みでない方は、下記「問い合わせ先」に連絡をお願いします。なお、個人情報や、研究の知的財産等、お問い合わせ内容によっては、お答えできない場合もありますのでご了承下さい。

記

[研究課題名]

視床下核電極留置術における Brain shift の傾向とその因子の検討

[研究責任者]

機能脳神経外科 太田智慶

[研究の目的]

当院で行っている定位的脳手

術（脳深部刺激装置植え込み術、凝固術など）において、標的に正確に刺激電極や凝固針を留置することが重要であり、そのためには術中の脳深部の偏位（brain shift）を極力軽減させることが望ましい。パーキンソン病に対する視床下核電極留置術の術中に、視床下核がどの程度 shift しているのかを評価するのは困難である。そこで、術直後と頭蓋内の空気が消失した後の電極の先端位置がどのように変化しているかを評価し、その原因を過去の症例から検討することで、間接的に視床下核の術中 shift の傾向とその対応策を明らかにすることを目的とした。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

パーキンソン病の患者さんで、2018年4月1日から2023年3月31日の間に視床下核電極留置術を施行された方

●研究期間

院長承認後から2025年3月31日

●利用する検体やカルテ情報

・カルテ情報：

診断名、年齢、性別、罹病期間、UPDRS3（パーキンソン病の運動機能評価のスケール）の結果

・画像情報：

術前と術後頭蓋内の空気が消失した時点での頭部CT、術前の頭部MRI、術中に撮影した頭部レントゲン写真

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構西新潟中央病院

所属：機能脳神経外科

職名：医師

氏名：太田 智慶

電話： 025-265-3171（代表）